

大雨被害の 状況と課題



今年も全国各地で、猛暑や大雨などの被害が発生しました。岩見沢市でも、9月9日から12日にかけて断続的な雨が降り続いたことで、4日間の降雨量が、岩見沢観測所で244mm、栗沢観測所で259mmを記録しました。

また、12日の午前4時から1時間降雨量は、岩見沢観測所で40・5mm、栗沢観測所で53mmを記録し、市内各所で道路や農地が冠水したほか、多くの家屋での床上・床下浸水など、昭和56年以来、31年振りに広域浸水被害が発生しました。利根別川の支流にあたる南利根別川では河川水位が一気に上昇し、川

【課題点と対策】

このたびの市の対応から、次のような課題が見えてきました。今後、これらの課題について、しっかりと対策していきます。

◆避難勧告発令の遅れ

【状況】避難勧告が、南利根別川の水があふれた後であったため、避難が遅れた方をボートで救助しました。

【対策】早めのパトロールや防災関係機関等と情報を共有するなど情報収集の強化を図り、河川水位の状況等の把握に努めます。

◆市民の皆さんへの情報提供

【状況】市民の皆さんの中には、被害

状況などの情報を入力できず、不安な気持ちになった方がいました。

【対策】避難情報や被害情報を、広報車や防災ファックスをはじめ、FM放送や有線放送、さらには岩見沢市メールサービスやツイッター、そしてNTTドコモのエリアメール、KDDIやソフトバンクモバイルの緊急速報メールなどの複数の情報発信手段を活用して、その状況に対応した適切な情報発信に努めます。

◆河川管理者への要望

今回水があふれた河川の管理者である北海道に対して、河川管理の強化を要望しています。

【水害発生時の行動】

もし水害が発生するおそれがある場合や発生したときには、次のような行動を取りましょう。

- ◎気象情報に注意
ラジオ、テレビ、インターネットなどで最新の気象情報や被害状況を確認しましょう。
- ◎避難する前に確認
避難する前に、電気、ガスなどの火元を止め、避難場所をもう一度確認しましょう。
- ◎高い道路を通りましょう
避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。
- ◎自主的に情報収集を
避難所には、テレビやラジオ、インターネットができるパソコンなどはありません。避難する際は、携帯ラジオや携帯電話などを忘れずに持っていき、自主的に情報を収集するよう心がけましょう。

◆被害状況◆ 10月18日現在

種別	被害内容	被害金額(千円)	
住家被害	床上浸水	7棟	16,818
	床下浸水	85棟	
農業被害	田畑浸水	158.9ha	7,800
	農業施設	39か所	
	林道	5か所	
	その他	15か所	
土木被害	市道	4か所	6,000
	公園	6か所	7,400
教育被害	学校	2か所	1,150
	社会教育施設	9か所	
その他被害	社会福祉施設	1か所	
	霊園(墓地)	3か所	
	その他	3か所	

被害金額は判明している分のみを計上しています。

◆応急対応状況◆ 10月18日現在

種別	対応内容	対応状況
道路関係(市道)	清掃 延べ67.3km	9月19日完了
	通行止め 冠水 8路線 がけ崩れ 2路線	9月12日解除 一部仮復旧
	その他一時的な通行止めは多数あり	
河川関係	土のう積み 利根別川 2か所 南利根別川 1か所	9月14日完了 9月14日完了
	消毒薬剤の配布 消石灰 492袋 クレゾール 14本	浸水住家の希望者に配布
衛生関係	し尿汲み取り減免 22件	被害者への減免

大雨による被害をお知らせください

市は、現在も継続して被害状況の調査を行っています。避難勧告が出た地域以外でも、自宅が浸水などの被害に遭われた場合には、連絡をお願いします。

【連絡先】 市住民自治・安全安心推進室
住民自治・安全安心推進係